



「王様トマト」とは

「王様トマト」とは、サカタのタネが開発した肉質のしっかりしたトマト品種を赤熟もぎり(畑で赤くなってから収穫)した場合の青果物ブランドです。

※王様トマト販促ツールをご用意しています。また、独自に出荷ダンボールや包装資材等を作成される場合は、ロゴのデータの規格に賛同し、基準を満たした青果物を出荷していただける生産者の皆さまのために、さまざまな出荷・販促ツールをお貸しすることもできます。なお、各種ツールやロゴデータご利用に際し、簡単な確認書記入にご協力いただけます。詳しくは各支店・事業所へお問い合わせください。

王様トマトになれる品種は10品種

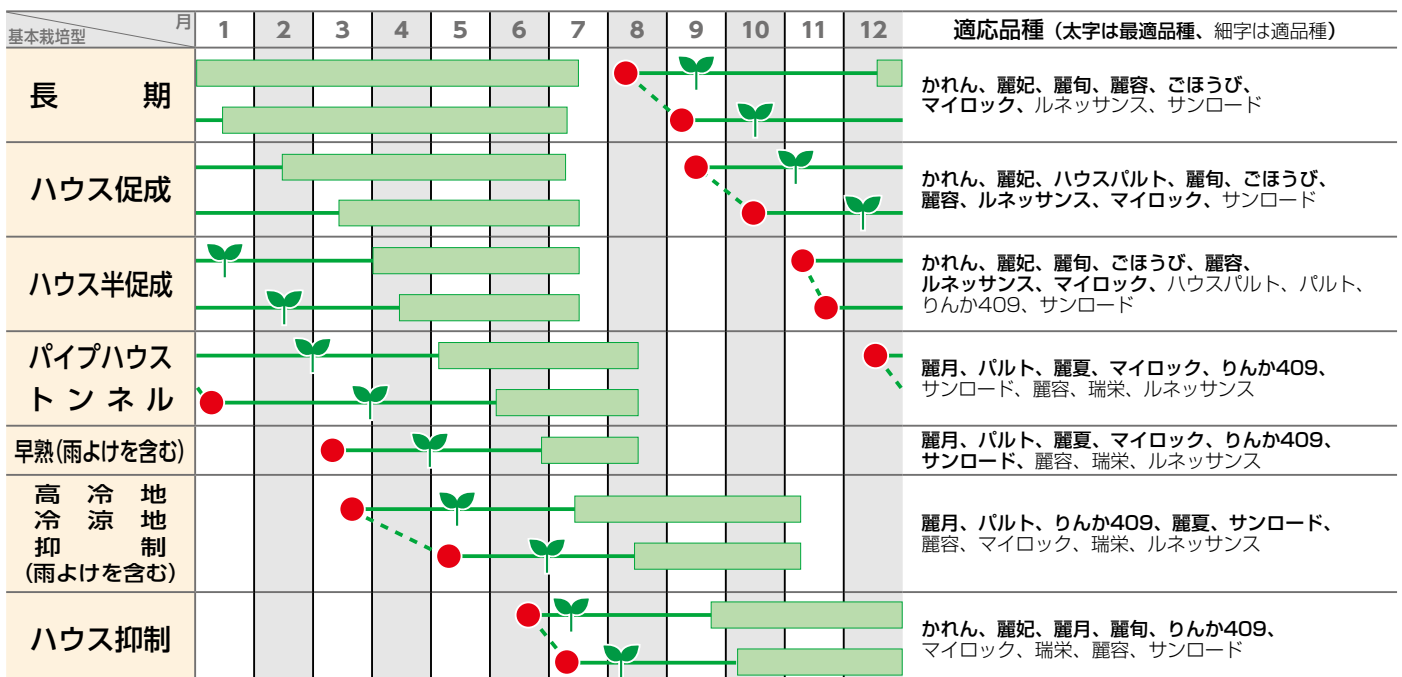
- かれん ●麗妃
- ハウスパルト ●麗旬
- 麗容 ●ごほうび
- 麗月 ●麗夏
- パルト ●マイロック

大玉トマト品種特性表

品 種	項 目	最適作型	葉の大小	草勢	節間長	早生性	果形	果重(g)	硬さ	耐虫性 (N)ネマトダ	耐 病 性									
											(F)萎凋病		(V)半身萎凋病	ToMV	(GL)斑点病	(J・3)根腐萎凋病	(B)青枯病	(Cf)葉かび病	(TY)黄化葉巻病	
											R-1	R-2								
かれん	抑制促成	やや小	中	極短	早	豊円	220	硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○	△		
麗妃	抑制促成	やや小	中	中	早	豊円腰高	240	極硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○	△		
ハウスパルト	促成半促成	やや小	中	中	極早	豊円	240	硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○			
麗旬	抑制促成	やや小	中	中	早	豊円腰高	230	極硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○	△		
麗容	促成半促成	中	やや強	短	早	豊円腰高	240	硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○			
ごほうび	促成半促成	小	やや強	やや長	中	豊円腰高	240	硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○			
麗月	夏秋抑制	やや小	中	短	早	豊円	210	極硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○			
麗夏	夏秋	やや大	強	短	早	豊円	220	極硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○			
パルト	夏秋	小	中	極短	早	豊円腰高	200	硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○			
りんか409	夏秋抑制	小	中	極短	早	豊円腰高	240	硬	□	○	○	○	○	○	○	○	○			
ルネッサンス	促成半促成	小	やや弱	短	中	豊円腰高	150	中	□	○	○	○	○	○	○	○	○			
サンロード	夏秋半促成	やや大	極強	短	中	豊円	240	中	□	○	○	△	○	○	○	△	△			
マイロック	促成半促成	やや小	中	短	極早	豊円腰高	220	硬	□	○	○	○	○	○	○	△	○			
瑞栄	夏秋抑制	中	中	短	早	豊円腰高	200	中	□	○	○	○	○	○	○	△	○			

□:耐虫性 ○:抵抗性 △:耐病性

大玉トマト栽培型と適応品種



トマト葉かび病抵抗性品種

サカタ交配

トマトの種類	品種名	遺伝子	耐病性程度
大玉	麗妃	Cf 9	◎
大玉	麗月	Cf 9	◎
大玉	ハウスパルト	Cf 9	○
大玉	麗旬	Cf 9	◎
大玉	麗夏	Cf 9	○
大玉	パルト	Cf 9	○
大玉	麗容	Cf 9	◎
大玉	ごほうび	Cf 9	◎
大玉	りんか409	Cf 9	○
大玉	マイロック	Cf 9	○
中玉	シンディースイート®	Cf 4	△
中玉	シンディーオレンジ	Cf 9	◎
ミニ丸玉	キャロルスター	Cf 9	○
ミニ丸玉	キャロルパッション	Cf 9	○
ミニ丸玉	キャロル10	Cf 9	○
ミニ長玉	アイコ	Cf 9	○
ミニ長玉	イエローアイコ	Cf 9	○

耐病性程度は、△…中、○…強、◎…極強

まめ知識

トマト葉かび病

●葉かび病とは？

かびによって主に葉に発生する病気で、20～25度が発病適温、湿度95%以上の多湿を好みます。初めは葉の表側に淡黄色の病斑が表れ、やがて葉の裏側に灰白色のかびが発生します。かびは古くなると茶褐色に変色し、葉枯れを起こします。症状がひどくなると、着果不良や果実の肥大不足、糖度低下を引き起こします。葉かび病菌は、ハウスのガラスやビニール、支柱などの表面に付着して生き残るので注意が必要です。

●葉かび病抵抗性品種を上手に使いこなすコツ

トマト生産圃場内においては、色々なレースの葉かび病菌が混在していると言えます。よって、遺伝子Cf-9を打破するレースが圃場で出たとしても、その他のレースには抵抗性があるため、Cf-9保有の品種はまだ有効であると考えられています（数年後はわかりません）。しかし、近年葉かび病抵抗性品種の導入が進んだことによる農薬散布減少により、トマトすすかび病、うどんこ病などの病害発生が増えていること、また抵抗性も将来的には打破される恐れがあることから、多湿を避け、健全な植物体をつくるとともに、予防薬中心の薬剤散布を含めた総合防除を心がけてください。